

令和4年度

八峰町教育委員会

事務事業点検評価報告書

(令和3年度事務事業実施分)

令和4年11月

八峰町教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、平成20年4月より、教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならないこととされました。

八峰町教育委員会でも教育行政サービスの質の向上と効率化の実現を進めていくために、広く識見を有する外部評価委員の意見を取り入れながら事務・事業の点検及び評価を行うため、平成22年度より実施しております。

この報告書は、前年度に実施した事務事業の点検・評価についてその結果をまとめたものであります。

点検・評価の結果を踏まえ、効果的な教育行政の一層の推進を図っていくこととします。

令和4年11月

八峰町教育委員会

1. 八峰町教育委員会外部評価の流れ

評価は、各事業等について所管課が評価シートを作成することから始まり、委員会事務局内部による自己評価を行い、八峰町教育委員会が委嘱した外部評価委員から評価内容の客観性の検証と、改善に対する様々なご意見、ご指導をいただきます。

そのご意見とご指導を参考にして最終方針を決定し、議会への報告、評価概要や評価表を公表することとなります。

以上のサイクルを毎年繰り返すことで、事業の改善や、町民の目線に立った教育行政の運営に努めてまいります。

外部評価の作業工程

- ① 評価事業項目を選定し、自己評価シートを作成
- ② 評価シートの取りまとめ
- ③ 外部評価委員会の開催
- ④ 最終取りまとめ
- ⑤ 教育委員会へ提出

2. 実施の方法

I 評価シートの作成

(1) 評価の対象とする事業

事業評価する項目は、八峰町教育委員会の主要事業等を対象とします。

(2) 事業評価における評価者（記入者）

内部評価（評価シート記入者）は各課の事業予算担当者です。

(3) 事業の効果等

事業目的に対する活動実績とその効果等について具体的な数値を用いて記入しています。

(4) 事業の評価

- ①必要性・・・現在の町民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業の必要性があるかどうか、状況の変化に対応しているかどうかを評価します。
- ②有効性・・・施策や運営方針、町で策定した総合計画の目的の実現にどの程度寄与しているかを評価します。
- ③経済・効率性・・・事業のコストがかかりすぎていないか、

無駄がないかなど、経済性の面から評価します。
また、事務改善の必要性も評価します。

- ④目標達成度・・・目標の達成状況の評価します。併せて、
目標の設定水準が適切かどうかを検討します。

● 総合評価

事業の各評価項目を勘案し総合的に評価します。

評価ランク

評価	評 価 内 容
A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている
B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C	成果が上がっておらず、改善の余地が多い
D	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要

(5) 判定説明及び考察

各評価項目の評価結果の総括や、今後の課題や抱えている問題点等について事業全体の視点から捉えた総合的なコメントを記入します。

(6) 事業の方向性

以上の評価結果を踏まえて、今後どのように事業を進めるかを選択しています。

II 外部評価委員会の評価

令和4年11月4日に「八峰町教育委員会外部評価委員会」を開催しました。

各事業事務担当者から事業の評価シートの自己評価状況について説明し、外部評価結果及び評価委員の意見等を最終確認しました。

八峰町教育委員会 外部評価委員名簿

氏 名	備 考
辻 正英	元教育委員会教育次長
田村 正	元総務課長

3 評価等の結果

(1) 必要性 (町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)

区 分	増 加	横 ば い	減 少	かなり減少	評価なし
必 要 性	1 事業 (4.0%)	21 事業 (84.0%)	—	—	3 事業 (12.0%)

(2) 有効性 (施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)

区 分	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与して いない	できていない	評価なし
有 効 性	14 事業 (56.0%)	8 事業 (32.0%)	—	—	3 事業 (12.0%)

(3) 経済・効率性 (事務効率化、コスト縮減しているか。)

区 分	十分できている	できている	あまりできて いない	できていない	評価なし
経済・効率 性	6 事業 (24.0%)	14 事業 (56.0%)	2 事業 (8.0%)	—	3 事業 (12.0%)

(4) 目標達成度 (計画通りに目標を達成できたか。)

区 分	十分できている	できている	あまりできて いない	できていない	評価なし
目標達成 度	7 事業 (28.0%)	15 事業 (60.0%)	—	—	3 事業 (12.0%)

【 総合評価 】

区 分	A	B	C	D	評価なし
総合評価	21 事業 (84.0%)	1 事業 (4.0%)	—	—	3 事業 (12.0%)

※新型コロナウイルスの影響により中止となった事業については、『評価なし』としております。

4 まとめ

総合評価の結果、25事業のうち21事業がA評価、1事業がB評価、3事業が新型コロナウイルスの影響による事業中止の影響により評価対象外となりましたが、各担当課において着実に事務事業の遂行を行っているとは評価されています。

事業の方向性については、24事業が「現状のまま継続する」、1事業が「見直しのうえ継続する」とされています。

評価委員による評価結果を分析し、更なる事務事業の改善に努めていきます。

最後に町民生活を取り巻く環境も大きく変化し、町教育行政に対する町民ニーズも多様化・複雑化する中で、既存の施策や事業の効果が現時点でも十分に現れているか、町民の役に立ち、町民満足度を高めているかなど、その成果を検証し、着実に改善していくことを常に念頭におき、事務事業の遂行に当たる必要があります。

予算や人員など経営資源の配分、施策や事業の選択と重点化、優先度付けなどの判断を行う上でも、外部評価の成果を十分活用し、改革・改善を進めていくことが必要と考えます。

評価委員の皆様には、ご多忙の中、貴重な時間を割きつつ、評価してくださったことに深く感謝申し上げます。

※ 参考

事業評価結果一覧表

	事業名	総合評価	事業の方向性	備考 (評価委員意見)
1	教育委員会活動	A	現状で継続	
2	奨学基金事業	A	現状で継続	
3	国際教養大学交流事業	A	現状で継続	
4	就学援助事業	A	現状で継続	
5	特別支援教育支援員配置事業	A	現状で継続	
6	スクールバス運行事業	B	見直し継続	コスト面での削減を検討
7	小6中1宿泊交流会	A	現状で継続	
8	コミュニティスクール推進事業	A	現状で継続	
9	子ども園の運営	A	現状で継続	安全な園の運営に努めている
10	保育料軽減	A	現状で継続	子育て世帯の負担軽減に十分寄与している
11	放課後児童クラブ	A	現状で継続	
12	社会教育事業 (①成人式)	A	現状で継続	
13	社会教育事業 (②放課後子どもチャレンジ教室)	A	現状で継続	
14	社会教育事業 (③地域未来塾)	A	現状で継続	
15	生涯学習・公民館事業 (①生涯学習講座)	A	現状で継続	住民ニーズにあった内容を考えていて、今後も継続してほしい
16	生涯学習・公民館事業 (②図書室運営)	A	現状で継続	
17	生涯学習・公民館事業 (③ことぶき大学)	—	現状で継続	事業中止のため評価なし
18	生涯学習・公民館事業 (④学社連携)	A	現状で継続	
19	生涯学習・公民館事業 (⑤チビッコ公民館)	A	現状で継続	
20	生涯学習・公民館事業 (⑥囲碁将棋大会)	—	現状で継続	事業中止のため評価なし
21	文化活動事業 (①文化祭)	—	現状で継続	事業中止のため評価なし 文化祭を楽しみにしている町民も多いため、継続を
22	文化活動事業 (②あきた白神子どもの俳句大会)	A	現状で継続	学校の負担になっていないか心配。県外からの応募がなくなったときには事業名変更も含めて検討が必要か

23	文化財保護活動事業	A	現状で継続	
24	保健体育・生涯スポーツ事業	A	現状で継続	健康寿命を延ばすことに十分寄与しているため継続してほしい
25	あきた白神体験センター運営	A	現状で継続	貴重な体験活動を提供しており、今後も継続してほしい